



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和5年10月1日号
発行

自民党
神奈川県支部
発行責任者
平木 茂

10月号
2023年
No.247

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

デフレ脱却のための優遇税制が進められています

「デフレマインド」解消は賃金の引き上げから 注目される賃上げ優遇税制

2012年、安倍総理と私が国民の皆さんに約束したのは、「デフレからの脱却」でした。デフレは経済を縮小し国力を奪ってゆきます。安倍政権で必死に努力しましたが、なかなかそれはかないませんでした。しかし、やっと長いトンネルの先に光が見えてきました。

デフレスパイラル、物の値段がどんどん下がってゆく、これは一見消費者にとっては良いことのように見えますが、流通業者、生産者にとっては地獄であり、コストダウンのためにリストラや賃金引下げが起きてしまいます。また、国家全体で見れば、100円の物が90円になれば、100億円が90億円に経済規模が縮小してしまうのです。

現在、日本はデフレから脱却しようとしています。7月の全国消費者物価指数（除く生鮮食品、コアCPI）は前年比3.1%上昇と11カ月連続で伸び率が3%台となりました。また、需要と供給の状態を示す需給ギャップもプラスになりました。つまり、供給よりも需要の方が大きい状態です。そして、なかなか伸びなかった名目GDPも600兆円に迫ろうとしています。

賃上げした企業を段階的に優遇

| | 大企業 | 中小企業 |
|-------------|--------------------------|-----------------------|
| 適用条件 | 継続雇用者の給与総額 3%以上増 | 雇用者全体の給与総額 1.5%以上増 |
| 税額控除 の規模 | 雇用者全体の給与総額が前年度比で増えた額の15% | |
| | 4%以上の賃上げで25% | 2.5%以上の賃上げで30% |
| | 教育訓練費増で30% | 教育訓練費増で40% |

(日本経済新聞電子版 2023年9月2日付)

それに対して、インフレは将来にわたり価格が上がる現象で、消費者にとっては痛みを伴います。しかし、その一方で消費が同じであれば売り上げと経済規模は拡大するのです。問題は値上げにより消費が縮小することで、これを抑制するには可処分所得の増加、つまり、「賃金の引き上げ」が重要になります。現在、企業の経常利益は31兆6,061億円（4-6月）と過去最高です。これをしっかりと賃金に反映させるよう政治の側から経営者に呼び掛けてゆきたいと考えます。

また、インフレには良いインフレ（デマンドプル）と悪いインフレ（コストプッシュ）があり、今の日本は悪いインフレであるコストプッシュ（物の原価が上がる）から良いインフレ（景気拡大によるインフレ）に転換しようとしています。これは需要が供給を上回ったことが証明しています。また、消費者が値上げを容認することで、「デフレマインド」が解消されつつあることも、これに貢献しています。

国民が豊かになるインフレの景気拡大を前提とした良いインフレの環境を作ることが政治の仕事であり、良い循環を守ることでデフレからの脱却を完全なものにしたいと思えます。

中小企業向け 賃上げ促進税制



右QRコードより→
ご参照ください(中小企業庁HPより)

NEWS

●9/11(月)
「松本純君を励ます会」に多くの国会議員が参加。その様子は右QRコードから→



●9/13(水)
第2次岸田第2次改造内閣が発足。閣僚名簿は右QRコードから→



松本純の活動記録

8月21日 ● 子神社例大祭齋行

26日 ● 杉田祭

● 汐見台連合自治会夏祭り

● 田中町内会模擬店他

27日 ● 川諏訪神社祭礼・神事

● 金沢文庫西口商会会夏祭り

● 第六天稲荷子供の集い

9月2日 ● 横浜市中区医師会納涼懇親会

● 富岡みどり会商店街さよなら夏の日ビアガーデン祭り

3日 ● 通夜:故島村大参議院議員

8日 ● 「薬剤師カモンTV」動画取材

10日 ● 赤井稲荷秋季例大祭

12日 ● 福神会創立15周年記念祝賀会

13日 ● 国税労働組合総連合面談



8/25 栗木ふれあい納涼まつり ● 栗木スポーツ公園で行われ、松本純も参加させていただき、迫田千代子会長にもご挨拶しました。会場ではさまざまな夜店が賑い、盆踊りでは関勝則市議の炭坑節が秀逸でした。



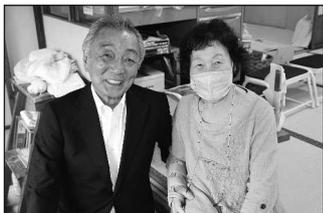
8/27 子之大神例大祭年番引継ぎ式 ● 引継ぎ式では年番町会・板垣好昭会長から宮川町町内会・山田裕一会長へと高張提灯が手渡されました。祭礼顧問の松本純は地元発展のため神輿を担ぎました。



9/1 金沢漁港夕祭 ● 豊漁と海上安全の祈願と海難事故を供養するお祭りに松本純も参加しました。漁港では野島稲荷神社の御霊を載せた「大漁丸」が見学船と共にし出船、大勢の方と共に松本もお見送りしました。



9/2 谷津浅間神社祭礼宵宮 ● 氏子各町内会の祭礼へ松本純はお祝いに伺いました。東谷津町内会では原田浩光会長へご挨拶し、町内会の半纏を着て、神事に参列しました。



9/3 三艘浅間神社祭礼・神事 ● 佐野和史宮司による祝詞奏上後、玉串奉納、三艘町内会の安寧が祈願されました。鈴木町内会副会長の神事終了の乾杯後、齋藤洋子会長をお訪ねし祭礼お祝いをお伝えしました。



9/3 堀割川の日式典 ● 明治初期の建設以降、その情緒ある沿岸景観から多くの市民に愛されたこの運河、磯子区では年中行事を制定し、魅力復活のために始動。松本純は実行委員会の皆さんの活動を応援します。



9/9 原町町内会盆踊り・抽選会 ● 滝頭八幡神社(八幡橋)の境内で開催、松本純も参加し横田秀昭会長や役員の皆様にご挨拶しました。福引抽選会は大人気。地元中高校生も夜店に立つなど盛り上がりしました。



9/10 第41回神整商・神整振フェスティバル ● パシフィック横浜C展示ホールで開催、県下各支部の飲食販売や機械工具展示で賑わう中、松本純が顧問を務める磯子金沢支部と横浜中央支部にお祝いに伺いました。

永田町日記

規格外の「浜なし」を魅力ある特産品に変身させたい！

食品ロスを減らし、特産品再生へ挑戦するJA横浜の試み

横浜市内の特産品「浜なし」をご存知ですか？ 主な品種は酸味が少なく甘味の強い「幸水」と、甘みに程よい酸味が加わり水分豊富で果肉が柔らかな「豊水」があり、平成27年、JA横浜により商標登録され、令和元年には「かながわブランド」登録認定となり、横浜を代表する果物として、その人気や知名度は広がっています。

こうした農家の皆さんが丹精こめ育てた味わい深い特産品ですら、みつ症という生理障害が発生した場合には、容赦なく廃棄されてしまうのが現実です。規格外ゆえの食品ロスはSDGsの観点からも問題となっています。そんな規格外品をなんとか活用できないか、JA横浜では各種食品メーカーと提携し、新たな商品開発の模索を続けてきました。

その第1弾として令和2年には、規格外の浜なしを使った焼き菓子を販売、さらに昨年、浜なしに、地元産玉ねぎ、豚肉を加えたJA横浜初のレトルトカレー「やるJAんカレー」の製品化に成功しました。「規格外の浜なしをピューレ状に加工し、遊休農地でJA職員が生産した玉ねぎに、市内の養豚農家が生産にこだわったブランド肉を使用しました」と話すのはJA横浜経営企画本部事業企画室の安達公一次長と岡部将樹係長。レトルトカレーには、浜なし独特の甘みやすっきりとした酸味を引き出した『いとしのやるJAん横浜カレー』と、地元豚肉のうま味を際立たせた『やるJAん横浜ひき肉カレー』の2種類があり、「どちらも、さっぱり甘い『浜なし』がカレーの味を引き立てています」と自信作を語ります(JA横浜「ハマッツ」直売所12店舗で販売中)。JA横浜ではメロンの栽培にも力を入れていて、今年10月には地元メロンを使用した乳製品デザート『ふるふる』の販売も。規格外品廃棄の「もったいない」を新たな「美味しさ」へ大転換させるJA横浜の取り組み、大いに注目です。(純)



JA横浜経営企画本部事業企画室の安達公一次長(左)と岡部将樹係長(右)。レトルトカレーのパッケージには赤い靴少女像など横浜をイメージ!